

さんぺい

輝枝

千葉市議会議員
(花見川区選出)



事務所 〒262-0025 千葉市花見川区花園1-20-14 TEL 043-299-1101 http://www.sanpei-terue.jp/ FAX 043-299-1104 sanpei3@d3.dion.ne.jp 立憲民主・無所属千葉市議会議員

市政広聴会
毎月第3土曜日 11時～
さんぺい輝枝事務所で

皆様のご意見やご要望を
お待ちしております



職員数について

一般質問 令和5年12月14日

前回の一般質問で職員の長時間労働について、全ての職員の健康維持、家庭生活の充実等のための、長時間労働の課題解決のための具体的にどのような取り組みを行っているのか伺い、ご答弁で、「これまで全庁一斉退庁日及び月2回の完全消灯日の実施や、幹部職員に対して時間外勤務の縮減を繰り返し周知し、各局等の実情に応じた時間外勤務の縮減対策を実施している。

また、組織内での業務の平準化を依頼し、所属間での柔軟な職員対応等により、特定の職員への過度な時間外勤務の集中が続くことのないよう、取り組んでいる。

このほか、限りある人員の中で、業務の見直しなどにより、職員の再配置を行うほか、必要な部門には、職員の増員も行っている。」等の、ご答弁でした。

千葉市はこれまで、定員適正化計画を策定して平成31年4月～令和5年4月までの取り組みをして頂きました。

さんぺい輝枝質問1

この間、台風、大雨等や、新型コロナウイルスまた、選挙などの対応で全庁一丸となり取り組んで頂きましたが、

前回の長時間労働の解決のためのご答弁で、業務の見直し、職員の再配置、必要な部門には職員の増員も行っているとの事でした。

これまで、どの部門の業務の見直し、職員の再配置、必要な職員の増員をしてきたのか伺います。

さんぺい輝枝質問2

計画は令和5年4月まででしたので、既に計画期間が過ぎています。次の計画を作っ

一般質問 バージョン

145号

ただかなければなりません。いつになるのか伺います。

総務局総務部人事課答弁1

前計画の期間内において、霊園事業において指定管理者制度導入や内部事務の民間委託化を進めるとともに、オリンピック・パラリンピック事業の収束等に伴う職員の再配置を行い、児童相談所等の配置基準職場の他、コロナや災害等の危機事案対応のため繁忙となっていた部署等に、増員を行ってきました。

総務局総務部人事課答弁2

前計画は令和5年4月までとなっていました。新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけ見直し後のコロナ対応状況や児童相談所など配置基準職場の増員の見込み、また、今年度からスタートした第一次実施計画の事業両党を踏まえ、今後必要となる人的需要を見極めながら、今年度中の策定に向け、作業を進めています。

さんぺい輝枝 二回目要望

必要な所に職員を配置して来たとの、ご答弁ですが、実際に働いている職員から長時間労働と職員数の不足について意見をいただいています。現状は、厳しい状況の業務もあります。

新規の事業が発生しても既存事業の改廃が無く、業務量が増加の一途を辿っている業務もあります。

また、既に計画期間が過ぎています。今、作業中との事です。

過去に過度な職員数の削減もあったので、増員も含め、業務量に見合った適切な職員数が確保される計画になるよう強く要望します。

千葉市職員労働組合
執行部や環境支部、病院局の
支部との連携で更なる市
民サービスの確保と向上
を目指す。

地域の高齢者福祉サービスは保健 福祉局や環境局とも連携が必要

一般質問

さんぺい輝枝 一回目の質問

@横浜市では、家庭ごみも個別収集してほしいという要望が数多く寄せられ、平成 16 年にふれあい収集を開始することになりました。

@横浜市では、その時、ボランティアを募集しましたが当初は地域コミュニティの繋がりを活性化することを、意図してボランティアによるゴミ出し支援制度を立ち上げました。

しかしながら、利用希望者に対して十分なボランティアが集まらなくて、市職員が直接支援するふれあい収集事業を開始したとの事です。

さて、千葉市のゴミ出し支援について困りごとの相談内容として次の事があるとの事でした。

花見川区での例ですが、三角町では、病院から退院したばかりの高齢者の方が、ごみ出しに行けない。そこで、千葉市として、シルバー人材センターを案内しました。と伺いました。

市民間のやり取りで、あなたの地域では、千葉市の支援で、無料でゴミ出しをすることが出来るのね。

私の所はボランティアさんもない、そのうえで料金の掛かるシルバー人材センターを紹介されて一回 500 円掛かるし、週に換算すると、2000 円位。月では 8,000 円位係ることになり、とても頼めない。など千葉市内で、情報交換がされていると聞いています。

さんぺい輝枝質問

一つ目質問

そこで伺います。こうした中で高齢者福祉の一つとして、横浜市の環境局が、一手に引き受けて、ゴミ出しのふれあい支援をしていますので、千葉市も、や

って頂きたいとのご意見が多く寄せられています。

ボランティアさんがいない所と、いる所では年間、料金が全く掛からない福祉サービスの地域もあれば、推定で年間 40,000 円～80,000 円以上のゴミ出しで、お金が掛かり、大変な地域差が生じています。

これら解決のために、他の政令市で取り組んでいる、ゴミ出し支援を千葉市の環境局でもすべきです。

お考えを伺います。

さんぺい輝枝質問 二つ目質問

以前私が質問した時から、状況は改善されているとは感じられません。

千葉市内での、こうした高齢者福祉課で取り組んでいるケース、高齢者ゴミ出し支援事業やシルバー人材センターのケース、更に介護保険を活用したケースのそれぞれの実績を伺います。

環境局資源循環部集業務課 答弁 一つ目

政令市において、高齢者等のご自宅から直接収集を行っている事例があることは承知していますが、収集の担い手や対象者の基準等が様々であることから、まずは政令市の他県内主要市の状況を把握するため、アンケート調査等を実施している所です。

保健福祉局高齢障害部高齢福祉課答弁二つ目

高齢者ごみ出し支援事業、シルバー人材センター、介護保険の利用実績についてですが、高齢者ごみ出し支援事業は登録団体は 40 団体、利用世帯は、133 世帯でした。シルバー人材センターでは昨年は 1,414 回でした。介護保険はそれぞれのケアプランを確認する必要があるため、実

績は集計していません。

さんぺい輝枝 二回目の意見 高齢者福祉サービスについて 二回目、要望

ご答弁で、無料の一人暮らし高齢者のゴミ出し支援について利用世帯は、全市で 133 世帯。

問い合わせをするたびに、保健福祉局に「無料のゴミ出し支援のボランティアさんが、その地域にはいなくて、出来ません」と言われていました。断れたと何人もの方から、お話を伺っています。

シルバー人材センターにおいては、割り戻してみると、なんと 29 前後の世帯です。無料の 133 世帯と、料金の掛かる 29 前後の世帯。

また、以前から聞いているのですが、現在の職員数では、とても、やりきれないとの事です。現在、環境事業所に 40 名程実働部隊の、職員の方がいらっしゃいます。

試算しますと、二人一組で一日、15 件ほど可燃物、資源物、危険物など、まとめて、蓋つきの入れ物に入れておいてもらい、2 週間に一回、まとめて回収したとして、一日 15 件。この 15 件に×5 日間=75 世帯。それに×2 週間ごとですので=150 世帯分になります。

そして 150 世帯分×職員の皆さん 40 人を二人ずつで 20 チームを×として、二週間で、3,000 世帯の回収が出来る計算になります。

これなら、断られないのではと考えます。

また、回収車は環境事業所に、パッカー車が 14 台、軽のワンボックスカーは 2 台あるとの、事です。使える車が 16 台になりますので 20 チームではなく、16 チームとなります。

ゴミ出し支援は保健福祉局の市民のボランティアと、環境局との連携が絶対必要です。



それでも二週間で 2,400 世帯分を回収できる計算になり、これが年間回収世帯数です。

保健福祉局の年間 133 世帯、シルバー人材センターの年間 29 世帯と、比較すると、雲泥の差になります。

無料でできる世帯と、料金の掛かる世帯とでは、不公平感が拭い切れませんのでご検討を、お願いいたします。

また、回収業務をするには、介護保険等との連携を経てからになると考えます。

この様に、保健福祉局とは別の環境局でも無料で、回収していただければ、と考えます。

横浜市もそうですが、千葉市もでもボランティアさんでは、かなり前からもう限界です。

千葉市は今までの経緯がありますので、全ての回収業務を、環境局で担う必要はなく、千葉市全体の現在のボランティアさんの育成の観点も醸成しながら、進めていく事が重要です。

職員の皆さんも別の仕事がありますので、負担のない形で、ご検討を、強く要望いたします。

因みに、会派の議員は現在、親御さんが、別の区に住んでいます。親御さんの回収ステーションに出すために、議会のある時も手伝っていて、大変だ。早くサービスを確立してもらいたいとの、意見がある事も、申し添えます。